

事業評価シート

事業名	市民文化祭		
島田市文化芸術推進計画における位置付（施策の柱）	1	担当課	文化振興課
継続年数（回数）	66回	事業費（R5決算額）	3,834,000
目的	島田市の文化活動の活発化と文化芸術水準の向上に寄与するため、市民誰もが参加でき、気軽に観覧できるような文化祭を目指している。		
内容(詳細)	展示部門（俳句・川柳・華道など）及び音楽芸能部門（ダンス・太鼓・合唱など）への出展または出演を島田市に在住・在勤・在学・活動拠点がある団体・教室に所属している人から募集。		
評価内容			
運営組織	B	<組織概要> 島田市、島田市民文化祭実行委員会 <次年度目標> 継続	
運営企画	A	<方法> 島田市及び島田市民文化祭実行委員会にて、前年度の参加人数を鑑み企画。 <工夫した点> 展示期間に併せてロビーコンサートを開催。（5回） <次年度目標> 令和5年度の市民文化祭出展者、出演者、観客数の合計人数（8,453人）を上回る。	
マーケティング	B	<方法> SNS・広報誌・FM島田 <工夫した点> 合唱やダンスでの参加者を募り、若年層も参加しやすい内容とした。 <次年度目標> 参加が少ない若年層について、公式LINEやInstagramの活用など、効果的な周知方法を模索する。	

事業評価シート

事業名	芸術文化普及事業		
島田市文化芸術推進計画における位置付（施策の柱）	1	担当課	文化振興課
継続年数（回数）	不明	事業費（R5決算額）	3,398,000
目的	多くの市民が文化芸術に触れる機会を提供し、その鑑賞、参加、交流等を通して、市民の文化芸術に対する関心を高め、身近なものとして感じられるような事業展開をする。これにより市民文化の向上を図る。		
内容(詳細)	島田市が企画する音楽、演劇、講演等の文化・教育事業の運営を指定管理者や実行委員会等に委託をして実施する。		
評価内容			
運営組織	B	<組織概要> 島田市 指定管理者 <次年度目標> 継続	
運営企画	B	<方法> 指定管理者と委託契約を締結し事業を実施する	
		<工夫した点> より多くの市民が参加できるよう、事業の偏りがないう事業を実施した 自主事業4本開催	
マーケティング	B	<方法> 広報紙、ホームページ	
		<工夫した点> 文化振興課Instagram、による情報の発信	
		<次年度目標> 入場者目標 3,000人	

事業評価シート

事業名	諏訪原城宣伝隊の結成・活動		
島田市文化芸術推進計画における位置付（施策の柱）	2	担当課	博物館課
継続年数（回数）	R2～(4回)	事業費（R5決算額）	3,502,382円
目的	著名人が諏訪原城応援隊となることで全国的知名度が増し、諏訪原城の注目度向上を目指す。		
内容(詳細)	隊長 春風亭昇太氏、副隊長 加藤理文氏、隊員 片川乃理子氏 開催場所：諏訪原城跡(天候により変更有) 開催名総称：諏訪原城応援隊イベント		
評価内容			
運営組織	A	<組織概要> 一般公募参加者、応援隊、出演俳優、島田市 <次年度目標> 継続	
運営企画	A	<方法> 著名人によって諏訪原城応援隊が結成され、応援隊によるイベントの開催を通じて全国に諏訪原城を発信する。 <工夫した点> 応援隊を著名人で結成し、諏訪原城の注目度が向上した。 <次年度目標> 継続して著名人の応援隊に活躍していただくことで宣伝効果が発揮され、諏訪原城を情報発信していく。	
マーケティング	A	<方法> 市ホームページ、諏訪原城公式Instagram <工夫した点> 応援隊イベントをSNSに投稿することで、諏訪原城を広範囲に情報発信した。 <次年度目標> 諏訪原城跡プロモーション事業の1つとして、継続的に応援隊イベントを開催し全国に情報発信する。	

事業評価シート

事業名	東海道金谷宿大学		
島田市文化芸術推進計画における位置付（施策の柱）	2	担当課	社会教育課
継続年数（回数）	31年	事業費（R5決算額）	776,126円
目的	学生及び教授を募り、「学ぶ楽しみ、教える喜び」に溢れた生きがいのある生活と地域文化の向上と地域社会への貢献のための場を提供すること。		
内容(詳細)	(1)各種講座を開講する事業 (2)学習成果の発表会を開催する事業 (3)その他、目的と達成するために必要な事業		
評価内容			
運営組織	B	<組織概要> （構成員）教授、学生、理事長 （組織）理事、教授会、学生代表者会 <次年度目標> 継続	
運営企画	B	<方法> 教授を募集し、理事会において開講講座を決定後、学生を募集。理事会で企画立案し、総会にて決定。教授が講座運営を行う。 <工夫した点> 講座の一年の成果を発表する成果発表会のチラシを新聞折り込みし、広く市民に周知している。 <次年度目標> 前年度の開講講座数（87講座）及び学生数（930人）を上回る。	
マーケティング	B	<方法> SNS・広報誌・FM島田、学生募集冊子の各戸配布、新聞折り込み <工夫した点> 簡易チラシを作成し、教授、学生の口コミによる周知、勧誘を推進した。 <次年度目標> 前年同様の方法により実施していく。	

事業評価シート

R5年度末に、3-2「川越遺跡番宿利活用事業」と6-2「和街道宿場イベント事業「和菓子バル」」と合体。

事業名	川越し街道賑わい創出プロジェクト		
島田市文化芸術推進計画における位置付（施策の柱）	3	担当課	博物館課
継続年数（回数）	6回	事業費（R5決算額）	1,751,368円
目的	川越し街道の認知度向上。街道の賑わい創出。他の観光事業等との連動。		
内容（詳細）	川越し街道で、「和菓子バル」やマルシェなど様々なイベント等を公民連携で開催し、賑わいを創出します。川越し街道の認知度を高め、興味を持ってもらい、賑わいと学習の両立を図ります。		
評価内容			
運営組織	B	<p><組織概要> 高校生、大学生、島田きものさんぽの会、商工会議所、観光協会、JR東海等と連携</p> <p><次年度目標> 将来的には、行政主導ではなく、民間主催となるような仕組みづくりを行う。</p>	
運営企画	B	<p><方法> 和菓子販売を軸に、静岡文芸大学、静岡産業大学生、静岡英和学院生の考案したイベントの実施や、学生を含めスタッフは着物姿で川越し街道を彩り、お囃子の演奏などを実施した。</p> <p><工夫した点> 和菓子販売以外はそれぞれの団体が主催した。また、JR東海のさわやかウォーキングのコースに設定し、市外からも誘客した。</p> <p><次年度目標> 小ぶりでもいいので同様のイベントやマルシェなどを数多く行い、民間団体に経験値を積ませ、活用による賑わいの雰囲気醸成していく。</p>	
マーケティング	B	<p><方法>和菓子バルにおいては、(1)文芸大のゼミと連携し、チラシ・ポスターデザインやInstagramの発信を依頼。産業大は動画配信。 (2)JR東海のさわやかウォーキングのコースとして周知 (3)アンケート調査により分析を行った。 (4)ペルソナを設定し、デジタルを活用した広告を行った。</p> <p><工夫した点> 他事業者、他団体の強みを活用し、市の弱みを補うとともに、相手側にメリットを与えるよう、Win-Winの状況の構築。これにより上記、(1)(2)が可能となった。 また、ターゲットを明確にして、アナログとデジタルの両面での情報発信を行った。</p> <p><次年度目標> 川越遺跡の認知度を上げていく。R1:8.3%、R5:9.3%。 民間所有の空き家の、民間による有効活用。</p>	

事業評価シート

事業名	東海道金谷宿お休み処石畳茶屋縁の運営		
島田市文化芸術推進計画における位置付（施策の柱）	3	担当課	観光課
継続年数（回数）	1	事業費（R5決算額）	1,497,905
目的	訪れる人達が気軽に立ち寄り、休憩などができる施設「東海道金谷宿お休み処」を有効活用し、文化振興や観光客誘致等を図ることを目的とする。		
内容(詳細)	市が株式会社増商に行政財産の使用を許可し、民間事業者のノウハウを活用した運営（展示及び民間図書館事業、和食カフェ、サウナ事業、観光案内業務）を行っている。		
評価内容			
運営組織	A	<p><組織概要></p> <p>株式会社 増商</p> <p><次年度目標></p> <p>継続</p>	
運営企画	B	<p><方法></p> <p>毎月事業報告書の提出を求め、報告に基づき協議を行う。</p> <hr/> <p><工夫した点></p> <p>毎月定例の会議を開催し、事業報告に基づき協議を行った。</p> <hr/> <p><次年度目標></p> <p>施設の目的とあわせて、新たなメニューの考案や精査、市内関係各所と連携した事業の開催など認知度や集客増加に繋がる工夫をする。</p>	
マーケティング	B	<p><方法></p> <p>パンフレットの配架、Webサイト及びSNS等で情報を発信した。</p> <hr/> <p><工夫した点></p> <p>観光施設やイベント等で来場者へ声掛けや広報物の配布などを実施した。</p> <hr/> <p><次年度目標></p> <p>事業等をオウンドメディアで情報発信し、認知度の向上に取り組んでいく。利用客アンケートを実施し、データの蓄積分析を行い、運営の改善につなげる。</p>	

事業評価シート

事業名	お城EXPO・山城サミット出展		
島田市文化芸術推進計画における位置付（施策の柱）	4	担当課	博物館課
継続年数（回数）	R1～（5回）	事業費（R5決算額）	848,622
目的	諏訪原城跡を全国に広く知らせるため。		
内容（詳細）	開催場所：パシフィコ横浜ノース 内容：二の曲輪中馬出攻略ゲーム（業者作成）設置、パネル展示、グッズ販売、パンフレット配布、一煎茶パック配布		
評価内容			
運営組織	B	<組織概要> 公益財団法人日本城郭協会、（株）ムラヤマ、城びと（㈱東北新社）、パシフィコ横浜、全国保城自治体、全国城郭団体 <次年度目標> 継続	
運営企画	B	<方法> 「お城EXPO」という全国的イベントの参加することによって、全国に諏訪原城跡を発信する。 <工夫した点> 業者が作成したゲームにより子供たちに諏訪原城を周知した。限定御城印などのグッズを販売し来場者にPRした。 <次年度目標> 継続して諏訪原城の歴史や特徴を展示することで、諏訪原城を情報発信していく。	
マーケティング	B	<方法> 諏訪原城公式Instagram <工夫した点> 写真などを適宜SNSに投稿することで、諏訪原城を情報発信した。 <次年度目標> 諏訪原城跡プロモーション事業の1つとして、継続的に全国的イベントに参加し情報発信する。	

事業評価シート

事業名	しまだ大井川マラソン事業		
島田市文化芸術推進計画における位置付（施策の柱）	4	担当課	観光課
継続年数（回数）	15回	事業費（R5決算額）	101,194,865円
目的	マラソン大会を通じた市民のスポーツ競技力・技術力の向上だけではなく、市内外及び静岡空港就航地先から観光交流客を誘致し、地域の消費機会の創出と拡大を図ることも開催の目的としている。		
内容(詳細)	島田市街及びマラソンコースリバティをコースとしたマラソン大会。 【種目】フルマラソン、10km 【同時開催イベント】おもてなし広場"しま旨っ！"、しまだ乾杯タウン、しまだ土産市、しまだおもてなし券など		
評価内容			
運営組織	A	<組織概要> しまだ大井川マラソンinリバティ実行委員会 <次年度目標> 継続	
運営企画	A	<方法> マラソン大会及び同時開催イベントの実施。 <工夫した点> ステージイベントの再開や、しま旨っ！でのアルコール提供など、コロナ前の規模に戻してイベントを開催した。 <次年度目標> 知名度の高いゲストを招聘する等、ランナーの満足度が向上するような工夫をする。	
マーケティング	A	<方法> 共催の新聞社を通じた告知、SNS広告、市公式ライン、大会HP、大会SNS等 <工夫した点> エントリー状況に応じたSNS広告等のバナーやエリアの効果的な修正、定期的なOWNメディアでの情報発信など。 <次年度目標> 各種目の定員を集客するほか、同時開催イベントへの集客も含めて広告計画を立てていく。	

事業評価シート

事業名	観光総合戦略推進事業		
島田市文化芸術推進計画における位置付（施策の柱）	4	担当課	観光課
継続年数（回数）	1回	事業費（R5決算額）	37,720
目的	島田市観光戦略プランの推進及び進捗状況の確認		
内容(詳細)	島田市観光戦略プラン推進委員会を開催しKGIやKPI等の数値目標の進捗状況について報告し御意見を伺っている。		
評価内容			
運営組織	A	<組織概要> 島田市観光戦略プラン推進委員会 <次年度目標> 継続	
運営企画	A	<方法> 県内の観光交流客数の速報値報告後に開催	
		<工夫した点> 委員の女性割合の向上 <次年度目標>	
マーケティング		<方法>	
		<工夫した点> <次年度目標>	

事業評価シート

事業名	川越遺跡整備事業		
島田市文化芸術推進計画における位置付（施策の柱）	5	担当課	博物館課
継続年数（回数）	S42～	事業費（R5決算額）	6,801,404円
目的	川越遺跡を確実に次世代に残すだけでなく、現地で学習できるよう整備を進めるため。		
内容(詳細)	川越遺跡の史跡整備事業 ・ 街道舗装事業（R4～R5） ・ 川会所の移築事業（R6～） ・ 復元家屋の耐震補強等（～R18）		
評価内容			
運営組織	B	<組織概要> 島田市、島田宿大井川川越遺跡整備委員会 <次年度目標> 史実に基づいた整備事業の円滑な推進	
運営企画	B	<方法> 島田宿大井川川越遺跡整備委員会において、史跡整備や環境整備などの手法を検討し、事業を推進していく。 <工夫した点> 国庫補助事業として事業を継続。文化庁の説得。 <次年度目標> 整備基本計画に基づき、文化庁及び整備委員会の指導を受け、川会所の移築事業を実施する。	
マーケティング	B	<方法> 博物館公式Instagram、市ホームページ、市LINE、広報紙の他、イベント時に川越遺跡の歴史講座を実施。 <工夫した点> 本市DX推進課が実施する認知度調査にて、調査項目に「川越遺跡」を追加した。 市広報紙での特集記事の掲載を行う予定 <次年度目標> 川越遺跡の認知度を上げていく。R1:8.3%、R5:9.3%。	

事業評価シート

事業名	諏訪原城跡整備事業		
島田市文化芸術推進計画における位置付（施策の柱）	5	担当課	博物館課
継続年数（回数）	30年（H6～）	事業費（R5決算額）	7,271,409円
目的	諏訪原城の歴史的価値を後世に正しく伝え、多くの方に来訪していただき地域と一体となったまちづくりを目指すため。		
内容(詳細)	発掘調査を始めとする調査・研究 史跡整備事業 環境整備事業など		
評価内容			
運営組織	A	<p><組織概要> 島田市、島田市諏訪原城跡整備委員会</p> <p><次年度目標> 継続</p>	
運営企画	B	<p><方法> 島田市諏訪原城跡整備委員会において、史跡整備や環境整備などの手法を検討し、事業を推進していく。</p> <p><工夫した点> 国庫補助事業として事業を継続</p> <p><次年度目標> 整備基本計画に基づき、整備委員会の指導を受け、園路整備事業を実施する。</p>	
マーケティング	B	<p><方法> 諏訪原城公式Instagram、市ホームページ、整備委員自身による発信</p> <p><工夫した点> 整備委員自身の情報発信により、見学者が城跡を訪れた。</p> <p><次年度目標> 史跡整備や環境整備をどのような方法で情報発信していくか検討する。</p>	

事業評価シート

事業名	緑茶化計画商品開発		
島田市文化芸術推進計画における位置付（施策の柱）	6	担当課	広報プロモーション課
継続年数（回数）	2	事業費（R5決算額）	4,103,000
目的	「島田市緑茶化計画」の商品開発にストーリー性を持たせ、地域資源の魅力発信や新たな掘り起こしを推進する。		
内容(詳細)	メインビジュアルを活用して、金谷中学校生徒による商品企画案を基にした「チャポニカ学習帳」、市内事業者と協働で行った茶コーラのパッケージ及び前年度制作した職員用「島田市緑茶化計画」トートバッグを基にした販売用トートバッグのデザインを制作した。		
評価内容			
運営組織	<p><組織概要> 金谷中学校、島田市観光協会</p> <p><次年度目標> 終了</p>		
運営企画	<p><方法> 市民や市内事業者と協働して商品を開発し販売した。</p> <p><工夫した点> ・商品販売は、市内事業者との連携により実施し、持続可能な取組とした。 ・学生との協働による商品開発</p> <p><次年度目標> ・市内事業者が販売している商品や令和5年度以前に開発した商品（緑茶や緑茶スイーツ等）等の販路拡大を支援する。</p>		
マーケティング	<p><方法> パブリシティ、広報紙、市ホームページ、市公式SNS、店舗販売、イベントでの周知等</p> <p><工夫した点> 商品だけでなく、島田市緑茶化計画の一環としてプロモーションを実施。</p> <p><次年度目標> 販路拡大を支援することにより、島田市緑茶化計画の浸透や地域資源の魅力発信等を図る。</p>		

事業評価シート

事業名	諏訪原城グッズ販売事業		
島田市文化芸術推進計画における位置付（施策の柱）	6	担当課	博物館課
継続年数（回数）	R1～(5回)	事業費（R5決算額）	1,901,600円
目的	諏訪原城関連グッズの販売等を通じ、諏訪原城跡及びビジターセンターの認知度向上をはかり誘客に繋げる。		
内容(詳細)	諏訪原城グッズの制作及び販売 販売場所：諏訪原城ビジターセンター、島田市博物館、お城EXPO会場 販売品目：御城印(限定含む)、ハンドタオル、マフラータオル、缶バッジ、クリアファイル		
評価内容			
運営組織	B	<組織概要> 島田市 <次年度目標> 継続	
運営企画	B	<方法> ビジターセンターと島田市博物館において販売する。 <工夫した点> 御城印(限定含む)を販売することで、全国の御城印コレクターに諏訪原城を発信し誘客に繋げた。 <次年度目標> 継続して御城印等の諏訪原城グッズを制作・販売することで、全国のお城愛好家に発信していく。	
マーケティング	B	<方法> 市ホームページ、諏訪原城公式Instagram <工夫した点> 写真などをSNSに投稿することで、諏訪原城を広範囲に素早く情報発信した。 <次年度目標> 諏訪原城跡プロモーション事業の1つとして、継続的に情報発信し誘客を図る。	

事業評価シート

事業名	展示コーナーの活用		
島田市文化芸術推進計画における位置付（施策の柱）	7	担当課	図書館課
継続年数（回数）	20年	事業費（R5決算額）	0
目的	地域の情報を発信するとともに、展示に関係する本や資料を紹介し図書館資料の利用の拡大を図る。		
内容(詳細)	金谷図書館入口に配置されている展示コーナーを活用し、地域の歴史や文化、交通、人物等の情報を定期的に展示し、情報発信を行っている。 また、展示するテーマに合わせて関連する本を紹介する「特集コーナー」を設置し、市民の探求心を刺激して読書意欲を高め、地域への理解を深めることで郷土への愛着を育むとともに、図書館利用の促進につなげている。		
評価内容			
運営組織	A	<p><組織概要> 教育部図書館課</p> <p><次年度目標> 継続</p>	
運営企画	A	<p><方法> これまでの展示状況や金谷宿大学の活動、他の展示イベント情報を参考に募集の受付、展示依頼を行う。</p> <p><工夫した点> 1年を17回、1回20日程度の展示日程に分け、展示終了後の作品撤去を翌日午前中、次回の飾りつけを同日午後に行うようにして、展示の切れ間がないように計画している。</p> <p><次年度目標> 人気の高い展示物を中心に、魅力ある展示物を追加していきたい。</p>	
マーケティング	B	<p><方法> 展示するテーマに合わせて関係する本を紹介する「特集コーナー」を設置し、図書館利用の促進につなげる。</p> <p><工夫した点> 展示内容を、「図書館ホームページ」「図書館フェイスブック」「静岡新聞ウィークリーガイド」等に掲載・投稿依頼し、広く周知を図り興味・創作意欲を呼び起こす。</p> <p><次年度目標> 魅力ある展示物を募集・掲示・紹介して、新たな探求心を引き起こし、図書館利用の促進につなげる。</p>	

事業評価シート

事業名	しまだ市民遺産		
島田市文化芸術推進計画における位置付（施策の柱）	7	担当課	博物館課
継続年数（回数）	9	事業費（R5決算額）	0
目的	将来の世代に引き継ぎ、又は語り継いでいくべき文化遺産、伝統行事、祭り、景観その他の地域の遺産をしまだ市民遺産として認定することにより、市民が地域に対し誇りと愛着をもつことができるような環境を醸成する。		
内容(詳細)	市民が大切に守り続けてきた美しい景観や伝統芸能、祭り等を「わがまちの宝」として募集し、審査を経て「しまだ市民遺産」として認定。地域資源を価値あるものと位置づけ、広く発信するとともに、郷土への愛着と誇りの形成につなげる。		
評価内容			
運営組織	B	<組織概要> 島田市 <次年度目標> 継続	
運営企画	B	<方法> 広報しまだ、島田市ホームページで告知し、しまだ市民遺産を募集し、審査委員会で審査後に認定 <工夫した点> 市民遺産を紹介する展示やツアーを実施して、広く発信 <次年度目標> 第4回しまだ市民遺産の募集	
マーケティング	B	<方法> 広報誌・島田市ホームページ <工夫した点> 随時、島田市ホームページで行事等の開催日を更新 <次年度目標> 次回募集に向けて、申請様式の電子化を検討	

事業評価シート

事業名	地域クラブ活動の推進		
島田市文化芸術推進計画における位置付（施策の柱）	7	担当課	学校教育課・スポーツ振興課・文化振興課
継続年数（回数）	未定	事業費（R5決算額）	0円
目的	中学生が文化芸術活動やスポーツ活動に親しむ機会を将来にわたって確保するため、地域クラブ活動を推進する。		
内容（詳細）	<ul style="list-style-type: none"> ・令和9年度夏以降、休日の学校部活動を地域クラブ活動へ移行するため関係団体等と協議を進める。 ・種目ごと、できるところから段階的に地域クラブ活動へ移行する。 ・種目ごと、種目関係者、中学校管理職と中学校教員代表、事務局の3者で、具体的な地域クラブ活動への移行に向けて協議する推進委員会を設定する。 		
評価内容			
運営組織	B	<p><組織概要> 島田市教育委員会、島田市</p> <p><次年度目標> 継続</p>	
運営企画	B	<p><方法> 競技・種目ごと、学校関係者と団体関係者で組織する島田市新たな地域クラブ連絡協議会を立ち上げ、学校部活動の地域移行に向けた協議を行う。</p> <p><工夫した点> 競技・種目ごと組織の大きさや状況等が異なることから、問題点を把握するための団体代表者による専門会議を実施した。</p> <p><次年度目標> 各団体と連携し、必要な支援を行う。近隣及び他市町を参考に学校部活動の地域移行実現に向けた具体的手段について模索する。</p>	
マーケティング	B	<p><方法> それぞれの中学校による新入生説明会において小学校6年生及びその保護者に説明</p> <p><工夫した点></p> <p><次年度目標> 種目ごと、推進委員会を開催し、種目関係者、中学校管理職と中学校教員代表、事務局の3者で、引き続き、具体的な地域クラブ活動への移行に向けて協議を行う。</p>	

事業評価シート

事業名	島田の逸品		
島田市文化芸術推進計画における位置付（施策の柱）	8	担当課	商工課
継続年数（回数）	9年	事業費（R5決算額）	1,194,986円
目的	シティプロモーションによる「島田市」の認知度向上を図るため、市内で生産、または企画・販売されている産品を、募集から審査の過程を通じて「島田の逸品」に認定するとともに、販路開拓等の支援により商品力の強化を図る。		
内容（詳細）	市内事業者が生産または企画し、販売している商品の中から、市の魅力を日本、世界に発信するシンボリック的存在として「島田の逸品」に認定しています。市の認知度向上を図るとともに販路開拓を支援します。		
評価内容			
運営組織	A	<p><組織概要> 島田市、島田の逸品認定事業者、観光協会</p> <p><次年度目標> 継続</p>	
運営企画	A	<p><方法> 令和5年度は、認定商品を募集の上で審査し、新たに33品を認定した。</p> <p><工夫した点> 新たな出展場所を開拓するなど、市内外で広くPRを行った。新庁舎にて販売会、お披露目会を行った。</p> <p><次年度目標> 令和6年度は、新たな募集・認定がない（2年度に1回）ため、現認定品の販路拡大及び認知度向上に努める。</p>	
マーケティング	A	<p><方法> 市HPや各種SNS（LINE、Instagram、X）での発信、イベントでのチラシ作成、出展先（店舗等）のチラシ等へ掲載</p> <p><工夫した点> イベント毎にチラシを作成したほか、市公式LINEやHPの活用に加え、島田の逸品認定事業者へSNS等での情報発信を依頼した。このほか、出展先のチラシ等に掲載を依頼することで、市内外に広く周知することができた。</p> <p><次年度目標> 島田の逸品としてSNSを開設、運用する。</p>	

事業評価シート

事業名	しまだ大井川マラソンinリバティおもてなし会場"しま旨っ！"		
島田市文化芸術推進計画における位置付（施策の柱）	8	担当課	観光課
継続年数（回数）	15回	事業費（R5決算額）	101,194,865円
目的	年1回、全国各地から1万人のランナー・応援者が来島するしまだ大井川マラソンの機会をとらえ、ゴール会場で地元事業者の出店をメインとするイベント「おもてなし広場"しま旨っ！"」を開催し、地域の消費機会の創出と拡大を図ることも開催の目的としている。		
内容(詳細)	島田市街及びマラソンコースリバティをコースとしたマラソン大会。 【種目】フルマラソン、10km 【同時開催イベント】おもてなし広場"しま旨っ！"、しまだ乾杯タウン、しまだ土産市、しまだおもてなし券など		
評価内容			
運営組織	A	<p><組織概要> しまだ大井川マラソンinリバティ実行委員会</p> <p><次年度目標> 継続</p>	
運営企画	A	<p><方法> マラソン大会及び同時開催イベントの実施。</p> <p><工夫した点> ステージイベントの再開や、しま旨っ！でのアルコール提供など、コロナ前の規模に戻してイベントを開催した。</p> <p><次年度目標> 知名度の高いゲストのステージイベントを実施する等、ランナー以外の誘客促進や、滞留時間の延長を目的とした工夫をする。</p>	
マーケティング	A	<p><方法> 共催の新聞社を通じた告知、SNS広告、市公式ライン、大会HP、大会SNS等</p> <p><工夫した点> イベント直前のSNS広告やOWNメディアでの情報発信など。</p> <p><次年度目標> マラソン大会本体と連携した広告計画を立てていく。</p>	

事業評価シート

事業名	地域ふれあい事業		
島田市文化芸術推進計画における位置付（施策の柱）	9	担当課	包括ケア推進課
継続年数（回数）	22年	事業費（R5決算額）	3,478,500円
目的	高齢者の閉じこもりを防止し、寝たきり・認知症等介護の必要な高齢者の減少を図ることを目的に活動している地域ふれあい事業団体の相互の情報交換、研修等を行う。これらの活動を通し、ふれあい事業の円滑・効果的な実施を図る。		
内容(詳細)	レクリエーションや、楽器の演奏を行う団体等を招いての鑑賞会、参加者自身が行う音楽活動・創作活動等、各団体ごとに工夫を凝らした企画を通じて、介護予防の推進や地域の支え合い体制づくりを行う。		
評価内容			
運営組織	B	<p><組織概要> 島田市地域ふれあい事業連絡協議会</p> <p><次年度目標> 継続</p>	
運営企画	B	<p><方法></p> <ul style="list-style-type: none"> ・委託先の協議会を通じて各団体へ事業費を支給する。 ・各団体で招くことが可能な講師を全体研修会の講師として協議会に提案する。 ・研修会で招いた講師等を各団体の問い合わせに応じて紹介する。 <p><工夫した点> 令和5年度は研修会で、マジックを活用した認知症予防講話を行うマギー墨氏をお招きした。</p> <p><次年度目標> 協議会と連携し、必要な支援を行う。</p>	
マーケティング	B	<p><方法> 広報誌、ホームページ</p> <p><工夫した点> 保健福祉センターはなみずきで実施しているふれあいの予定表を、年に3回広報誌に掲載した。</p> <p><次年度目標> 協議会と連携し、必要な支援を行う。</p>	

事業評価シート

事業名	アートによる地域づくり推進事業		
島田市文化芸術推進計画における位置付（施策の柱）	9	担当課	文化振興課
継続年数（回数）	不明	事業費（R5年度決算額）	1,500,000
目的	アーティスト・イン・レジデンスを通じた地域の魅力や独自性を発信する取り組みを支援する。		
内容(詳細)	(1)「ささま国際陶芸祭」主催団体への補助金交付 (2)「UNMANNED無人駅の芸術祭」主催団体への補助金交付		
評価内容			
運営組織 (主催・共催・ 関係団体等)	B	<p><組織概要> (1) ささま国際陶芸祭実行委員会 (2) 特定非営利活動法人クロスメディアしまだ</p> <p><次年度目標> 継続</p>	
運営企画 (企画方法や内容等)	B	<p><方法> 団体の活動に対し、広報や補助金の面で支援を行う。</p> <p><工夫した点> 団体の自主性を妨げないように、側面支援を行う。</p> <p><次年度目標> 団体と連携し、必要な支援を行う。</p>	
マーケティング (事業の周知方法や 関係者等への関わり。 SNSの活用や それに対する反応等。)	B	<p><方法> 広報紙、ホームページ</p> <p><工夫した点> 広報紙、ホームページほか文化振興課Instagramにより事業をPRした。</p> <p><次年度目標> 団体と連携し、必要な支援を行う。</p>	